

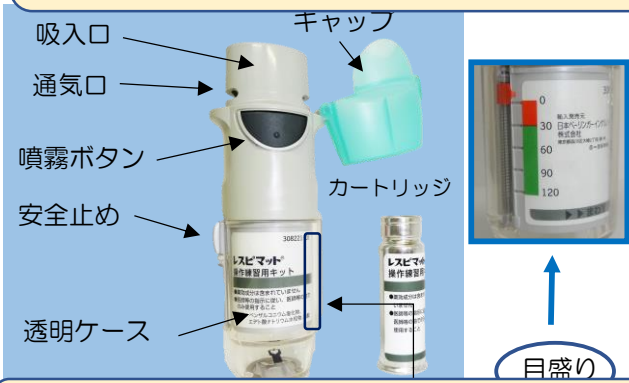
おくすりの名前

吸入回数

(手技確認における8つのポイント※)

※(一社)吸入療法アカデミー方式

- ①デバイス保持(垂直) ②カウンター指差し確認 ③通気口の位置確認 ④ボタン・レバー・カバー操作は最後までしっかり行い指を離す ⑤口角を閉じる ⑥吸い方(ゆっくり深く) ⑦息止め(指折り5つ) ⑧うがいは必ず行う(ガラガラ、ブクブク各3回)



- ・透明ケースを180度回転させるたびに薬がセットされ目盛りが進みます
- ・目盛りが0になった回の吸入が終わりましたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・目盛りが0になるとロックがかかり透明ケースが回転できなくなります

(開封時の操作) (毎日の操作) (注意点)

《吸入映像》※1



(約2分)



(約1分50秒)



(約1分50秒)

- ・キャップを開けてから透明ケースを回転させると、誤噴霧させた場合目に入り、抗コリン作用により視覚障害等の症状が発現する可能性がある

ポイント

① 薬剤の準備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 開封時は、試し噴霧を4回行う □ 薬剤セット時の操作は吸入器を垂直に持ち行う □ 目盛り(カウンター)で残量確認する □ キャップを閉じた状態で上向きにし、透明ケースをカチッと音がするまで右に180度回転させる(A) □ キャップをしっかり開ける(B) 		<ul style="list-style-type: none"> ・垂直に持ち、しっかり操作しないと正確な1回分量がセットされない ・続けて回転させても1回分しかセットされず薬が無駄になります
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> □ 無理のない程度に息を吐き一旦止める(吸入口には息を吹きかけない) 		<ul style="list-style-type: none"> ・息吐きをしないとしっかり吸えない
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入口をくわえ、口角を閉じ、息を口からゆっくりと吸いながら、噴霧ボタンを押し、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む(通気口をふさがない) 		<ul style="list-style-type: none"> ・息がもれないように口角を閉じる ・深呼吸をするイメージで吸う
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入器から口を離し、口を閉じ、指折り5つ息を止める(無理のない程度で良い) 		<ul style="list-style-type: none"> ・肺により多くの薬を定着させるため
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> □ 鼻からゆっくりと息を吐く 		<ul style="list-style-type: none"> ・口から吐くと速くなることもある
繰返し	<ul style="list-style-type: none"> ・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い ・ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある 吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる 		
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> □ キャップをしっかり閉じる 		<ul style="list-style-type: none"> ・キャップを閉じる前に吸入口を拭く
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> □ 吸入後はガラガラうがい、ブクブクうがいを各3回ずつ行う 		<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す

※1 患者吸入指導マニュアル(大林製薬 協和企画)より著者の許可を得て使用

吸入ステロイドは口腔内カンジダや喉痛などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする

保険調剤薬局名(薬剤師名) : _____ (印) _____ 年 _____ 月 _____ 日